

第327回 番組審議会

1. 日 時 令和6年 1月 16日 (火) 12:00～
2. 場 所 ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING
3F「星雲東の間」
3. 委 員 委員総数 8名
出席委員数 7名

○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)
— 50音順 —
石田 征広
岸 真英
菅原 正二
平野 順子
八木橋 伸之
渡邊 佳隆

○ 会社側出席者

齋藤 秋水 (代表取締役社長)
高嶋 昇 (常務取締役)
君澤 温 (常務取締役総務局長)
櫻 克宏 (取締役報道局長)
近谷 利政 (取締役コンテンツ推進局長)
工藤 哲人 (岩手めんこいテレビ番組制作部 副部長)

○ 事務局

岩渕 博美

4. 議題 「縄文ジャーニー 岡本太郎の情熱に触れる岩手・青森の旅」
放送日時：令和5年11月25日（土）
14：00～14：55

5. 議事概要

今回は、去年11月25日に放送した特別番組「縄文ジャーニー 岡本太郎の情熱に触れる岩手・青森の旅」について審議しました。

【岩手めんこいテレビ番組制作部 工藤哲人からの説明】

岡本太郎が東北や岩手を愛し、何度も足を運んでいたことや、太郎が縄文人にシンパシーを感じ、情熱的な生き方をしたことを知ってほしいと思い、番組を企画した旨を説明しました。

【委員からの意見】

委員からは「縄文をキーワードに岡本太郎を岩手や青森に引っ張ってきて、上手なまとめ方をしていた」「大きなテーマを複数組み合わせた新しい旅番組で非常におもしろかった」「旅人の戸塚祥太さんが、旅を通じて成長していくところも感じられて、わくわくする番組に仕上がっていた」「東北の観光に参考になる番組だった」といった意見が出ました。

一方で、「岡本太郎の遺作があるホテルで、スイートルームや露天風呂まで紹介するのは若干違和感を感じた」「ほかの芸術家の作品も出てきたのでやや混乱した」という意見もありました。